

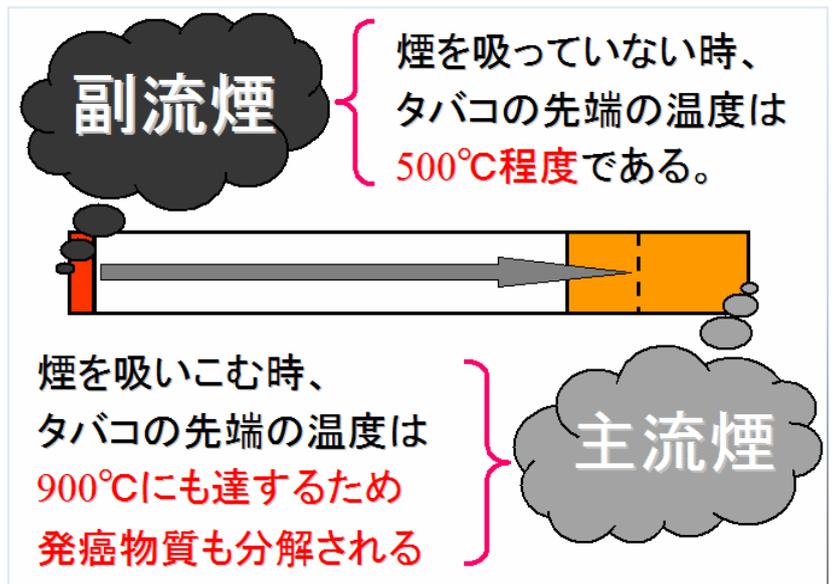
週刊 タバコの正体

タバコの煙には200種類以上の有害物質と60種類以上の発ガン物質が含まれています。なのにタバコを吸い続ける人がいるのは、「ニコチン依存症」にかかってしまっているからだと言うことを知ってもらいましたね。

じつは、「ニコチン依存症」の人がタバコを吸うと、その周りにいる人も有害なタバコの煙を吸い込んでいるのを気にしたことはあるでしょうか。火のついたタバコからは必ず煙が立ち上ります。下の図にあるように、火がついた先端からは常にゆらゆらと煙が出ていますよね。この煙を周りの人は無理やり吸わされているわけです。

喫煙者自身は火がついた反対側からフィルターを通して吸い込みます。この煙は「主流煙」、火元から立ち上っている煙は「副流煙」と呼ばれています。

「主流煙」は、吸い込む息のせいで燃焼温度が高くなるので、発ガン物質が分解されたうえでフィルターを通過するのに対して、「副流煙」は燃焼温度が低く不完全燃焼の煙が直接吸い込まれるのです。



日本生活習慣病予防協会『紫煙の怖さと生活習慣病予防』サイトから

つまり、タバコを吸っている人の煙(主流煙)と吸わされている煙(副流煙)の質はかなり違います。なんと下の図にあるように、吸わされている煙の方がはるかに有害で危険なのです。ニコチン、タール、一酸化炭素などの有害成分は約3~5倍も高いなんて驚きませんか。

だから、大勢の人が集まるところは“禁煙”になっているのは当然だし、人前でタバコを吸うのは、とても迷惑な行為だと感じるはずですが、残念ながらこの事実を知らない人が多いのです。

タバコに興味があれば関係ありませんが、ニコチン依存になるとこんな迷惑行為をしない心がけが必要なのです。

産業デザイン科 奥田 恭久

● たばこの煙からでる有害物質 ●

主流煙 喫煙者が吸うたばこの煙		副流煙 たばこの火から立ち上る煙	
ニコチン (血流を悪化)	0.46mg	ニコチン (血流を悪化)	1.27mg
タール (やに・発がん物質)	10.2mg	タール (やに・発がん物質)	34.5mg
一酸化炭素 (酸素不足を招く)	31.4mg	一酸化炭素 (酸素不足を招く)	148mg

資料 厚生省(現在厚生労働省)編「喫煙と健康」第2版(2002)

主流煙の
数倍!!!